

2015 年 2 月 16 日

記者各位

アストモスエネルギー株式会社

パナマックス船「RONALD N」号の新規用船について

当社(本社:東京都千代田区 社長:増田 宰)は、2015 年 2 月から NEU GAS SHIPPING 社* (本社:ドイツ/ハンブルグ)とパナマックス船「RONALD N」号の用船契約を開始しました。

現在、パナマ運河を通行可能なLPガス/パナマックス船は、世界に4隻のみ運航しております。当社は、これまで、既存用船先とスポット及びスワップ契約によりパナマックス船を取扱い、また、日本の元売としては初となる、パナマ/バルボア沖でのSTS(SHIP TO SHIP/瀬取りオペレーション)*に取り組むことで、アフリカ/喜望峰経由にくらべ物流コストを低減できるパナマ経由でのオペレーションノウハウの蓄積を図ってきました。

この度、パナマックス船を自社で用船し、直接運航させる事により、オペレーションにおける経験を更に向上させ、パナマ運河拡張完了とその後の極東向け米国カーゴの流入増加を見据えた万全のオペレーション体制を構築してまいります。

一方、スエズ以西のマーケットにおいては、当社ロンドン支店に1月より1名を増員し、米国カーゴの取り扱いを拡大するための体制の強化を行っています。

こうした取り組みを通じ、中期計画で掲げる1,200万MTの取扱量の達成に向け、海外事業展開を進めてまいります。

*＜NEU GAS SHIPPING 社概要＞

- 設 立 :2007 年 4 月
- 現状の運航船 :VLGC 船1隻、パナマックス船 2 隻、LGC 船 3 隻
- その他 :パナマックス船だけでなく、同社 LGC 船もパナマ運河を経由したトレードに投入されている。

*＜バルボア沖瀬取オペレーション＞

- ヒューストンでパナマックス船に積荷し、パナマ運河を通過後、バルボア沖で積荷をVLGCに移し替え、極東に持ち込むこと。
尚、パナマ運河通過後、STSを実施せず、そのまま極東向けに持ち込む事も可能。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部 工藤 電話:050-3819-0720

e-mail:keishi.kudo@astomos.com

URL:<http://www.astomos.com>